

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 あんさんぶる

活動の報告と成果

おかげさまで、今年度は2023年2月に念願であった社会福祉法人を開設することができました。皆様のご協力の賜物だと感謝しております。ありがとうございました。経緯としまして、コロナ対策として3年前から利用しておりました生活介護のサテライト施設（荻野）せかんどを次年度にむけて、荒牧南3丁目の方に新築移転を決定し、このタイミングで、社会福祉法人あんさんぶるの申請を伊丹市と協議を行い、9月に社会福祉法人化に向けた臨時総会を行い、12月に社会福祉法人の認可のめどが立ち、2023年2月に社会福祉法人あんさんぶるの設立を行うことができました。

続いて、令和4年度もコロナウイルスによる緊急事態宣言などもあり、昨年に引き続き、コロナ禍の中でお出かけの制限などもあり、利用者様にも我慢をお願いする年となりました。

その中でも、ハロウィンやクリスマス会なども感染対策をしながらイベントも開催できまして、利用者様やご家族様に好評をいただきました。今後は社会福祉法人としての事業運営になりますが、感染に気を付けながら、皆さんで楽しめるイベントを少しでも開催できればと思います。

おかげさまで、コロナ関連での影響もありましたが、新規の利用者さんも増え生活介護や居宅介護の利用者さんが104名の方と相談の利用も50名を超える方に新規ご利用いただいている状況となりました。今後も職員体制を整えながら、可能な限りお受けさせていただければと考えています。

職員の採用と教育に関してですが、3年前から始めている新卒採用に関しても大卒1名の採用することができました。引き続き中途採用なども行いながら、今後も障害のある方が充実した生活をおくれるように事業を継続していきたいと考えています。

職員に関しては全体で60名となりました。法人格の変更のタイミングで職員の入れ替わりはあるも、何とか採用ができており、引き続き採用を継続していきたいと考えています。

教育に関してですが、イーラーニングなどの導入を始めたことと、これまでの先輩職員からの指導や専門職（看護師やPT・STなどの専門職）の指導や研修を行うことで、職員のサービスの質の向上をしていけるように取り組んでいるところです。少しずつ教育の形などを改善し、職員のスキルアップに努めていきたいと考えています。

令和4年度も引き続き、バックヤード（勤怠管理・労務管理・経理など）のIT化などを継続し、バックヤードのレベルアップも少しずつできてきたのかと感じております。今後も継続して進めていきたいと考えています。研修に関しては対面式の研修がコロナの影響などを受けて、開催することができず、次年度は行えるようにしていきたいと考えております。年度替わりで管理者の交代などもあり、今後も組織体制の見直しを進めていき、良い文化や風習を残しながら、新しいものにチャレンジできるような法人であり続けられるようにと考えています。



荻野せかんの様子1



荻野せかんの様子2



スカイパークへのお出かけ



創作 (ハロウィン飾りつけ)



ボッチャ



玉ねぎ栽培

(音楽療法)



(クリスマス会)

